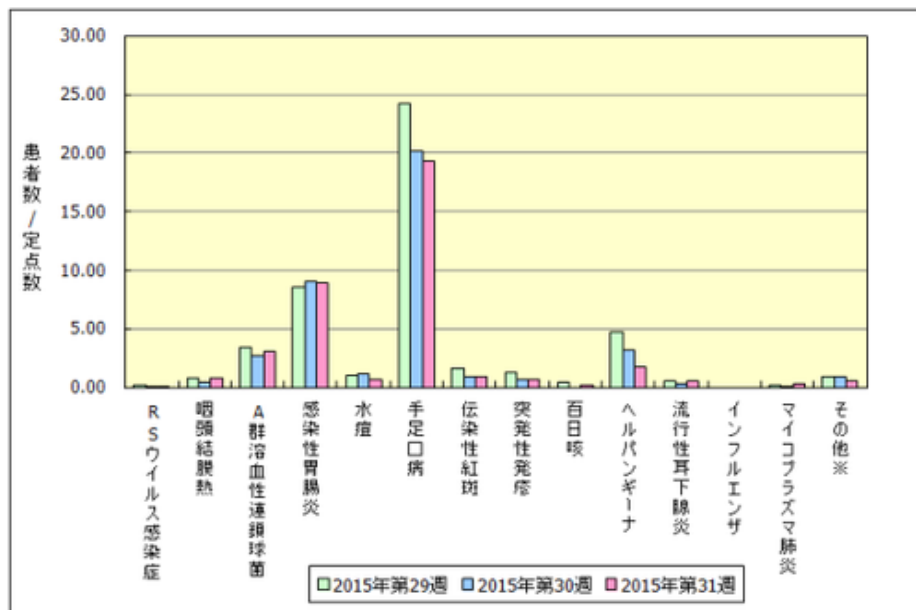


第31週(7月27日～8月2日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- 手足口病が、定点あたり19.4人と前週の20.2人より減少しましたが、警報レベルが続いています。症状が治った後も3～4週間はウイルスの便への排出が認められます。
- 感染性胃腸炎は、定点あたり8.9人と前週より減少していますが、2014年同時期(定点あたり5.5)よりは高値です。
- いずれも、経口、飛沫、接触感染対策として、手洗い、うがいの励行と、タオル等共有の禁止を徹底しましょう。



※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第31週疾患毎発生状況グラフ

	2015年 第26週	2015年 第27週	2015年 第28週	2015年 第29週	2015年 第30週	2015年 第31週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	2↑	5↑	4↓	2↓	1↓	1→	134
咽頭結膜熱	3↓	5↑	6↑	11↑	6↓	11↑	175
A群溶血性連鎖球菌	55↓	58↑	63↑	47↓	37↓	43↑	1824
感染性胃腸炎	149↓	156↑	172↑	120↓	127↑	124↓	4996
水痘	3↓	5↑	6↑	14↑	16↑	9↓	443
手足口病	112↑	133↑	255↑	339↑	283↓	271↓	1535
伝染性紅斑	19↑	17↓	17→	22↑	13↓	12↓	537
突発性発疹	15→	16↑	20↑	18↓	10↓	9↓	288
百日咳	3↑	2↓	2→	6↑	0↓	3↑	60
ヘルパンギーナ	18↑	20↑	39↑	67↑	45↓	24↓	244
流行性耳下腺炎	6→	14↑	11↓	7↓	4↓	7↑	231
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	3501
マイコプラズマ肺炎	2→	1↓	3↑	2↓	1↓	4↑	39
その他※	5↑	5→	7↑	12↑	12→	8↓	98

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第31週疾患毎発生状況表

第31週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	1	0	0	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2
～11ヶ月	0	2	0	9	1	28	0	3	0	1	0	0	0	1
1歳	0	1	3	9	1	76	0	5	0	6	0	0	0	0
2歳	0	1	0	19	0	33	1	1	0	7	1	0	1	2
3歳	0	0	1	15	1	46	4	0	0	3	1	0	0	0
4歳	0	3	7	19	0	27	1	0	0	3	0	0	0	1
5歳	0	2	6	13	1	28	1	0	0	2	1	0	0	1
6歳	0	1	9	7	2	12	2	0	0	0	1	0	0	0
7歳	0	1	2	5	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1
8歳	0	0	4	5	1	5	1	0	0	0	1	0	1	0
9歳	0	0	4	5	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0
10～14歳	0	0	6	7	1	2	1	0	2	0	1	0	2	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	7	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	1	11	43	124	9	271	12	9	3	24	7	0	4	8

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第31週年齢別発生状況表